

お知らせ

○介護保険利用状況をお知らせ

介護保険サービスの利用者に、介護保険給付費のお知らせを9月下旬に郵送。今回の通知には、4月から7月までの利用分を記載しています。利用したサービスに間違いがないか確認してください。詳しくは、本市ホームページをご覧ください。

○介護保険課

☎027・898・6157



○土地の利用変更は届け出を

土地の利用状況や住宅用地の面積を変更した場合は、届け出てください。なお、次のいずれかに該当する土地の所有者は、住宅用地異動申告書を市役所資産税課へ提出してください。

- ①店舗などを住宅に改造し、住宅用地にした②住宅を店舗などに改造し、住宅用地でなくなった③店舗などの併用住宅で、居住部分とそれ以外の部分の床面積を変更した④廃業などに伴い工場・店舗などの事業用家屋を住宅用の物置などに変更した(住宅と同一の敷地内にあり事業

○9月10日は下水道の日

本年度の標語は「げすいどうめぐりめぐって またあおうー!」です。下水道は安全で快適な生活を守り、



良好な水環境の保全に重要な施設。下水道管が整備されたら、なるべく早く接続してください。また、公共下水道区域内で既存のくみ取り便所やし尿浄化槽を廃止し、公共下水道に接続する工事に対して補助金などの制度があります(新築工事は対象外)。申請には指定工事店への事前相談が必要です。

●公共下水道接続促進補助金制度

①世帯全員の市民税が非課税②市税、水道料金、下水道使用料、下水道事業受益者負担金、公共下水道事業分担金を

用物品などを撤去した家屋に限る)⑤住宅用地の拡張により、隣接する宅地を利用し始めた⑥住宅用地の一部を貸し駐車場にしたか、貸し駐車場部分を廃止した。

☎027・898・6217

○支援給付金請求を忘れずに

年金生活者支援給付金の新たな対象者に、9月から日本年金機構が案内を送付しています。同封のハガキで申し込んでください。

①〈高齢基礎年金受給者〉65歳以上で世帯員全員が市民税非課税であり、前年の公的年金収入額とその他所得の合計が88万1,200円以下(障害基礎年金・遺族基礎年金受給者)前年の所得が472万1,000円+扶養親族の数×38万円以下

☎0570・05・4092

○幅広く相談を受け付けます

一日合同行政相談所を開設。年金事務所や弁護士、税理士、司法書士、行政書士、土地家屋調査士、行政相談委員などが、相続や税金、年金、

○特殊建築物は定期報告を

大勢の人が利用する特殊建築物は、その状態を定期的に調査する必要があります。次に該当する建築物の所有者が管理者は、資格のある専門家に調査を依頼し、定期報告書を10月3日(月)から11月30日(水)までに市役所建築指導課へ提出してください。詳しくは問い合わせるか、本市ホームページをご覧ください。

☎027・898・6753

○建築確認と完了検査を忘れずに

カーポートや物置などを建築する場合は、プレハブ製であっても建築確認申請が必要です。なお、防火・準防火地域以外で10平方メートル以内の範

口間 本庁・支所・市民サービスセンター 前橋プラザ元気21証明サービスコーナー

8時30分~17時15分 10時~19時

離婚、貸金トラブル、土地境界、農地転用、国の行政に関する苦情、意見など各種相談に応じます。

☎027・221・1100

○総合福祉会館の抽選予約受付

来年1月から3月までの総合福祉会館と第四コミュニティセンターの施設利用予約を受け付け。利用者は抽選で決定します。申し込み方法など詳しくは同館ホームページをご覧ください。

☎027・237・0101

○証明サービスコーナー臨時休業

10月9日(日)は機器メンテナンスなどのため、前橋プラザ元気21証明サービスコーナーを臨時休業します。

☎027・210・2279

○買って食べて前橋の農業を応援

スラン前橋店(千代田町二丁目)地下食品売り場で赤城の恵ブランド認証品の特別販売会を開催します。

☎027・898・5841

○あかぎの輝きを抽選販売

本市オリジナルのバラ、あかぎの輝き200株を、市制施行130周年を記念した特別価格で抽選販売します。

☎027・898・3074

○買って食べて前橋の農業を応援

スラン前橋店(千代田町二丁目)地下食品売り場で赤城の恵ブランド認証品の特別販売会を開催します。

☎027・898・5841

○パスポート窓口開設日の変更

10月9日(日)は、機器メンテナンスなどのためパスポートセンターを休業し、8日(土)に開設します。詳しくは本市ホームページをご覧ください。

☎027・898・6124



山本 龍

今回の広報では日赤病院跡地にできた「コロンシティまえばし」が特集されています。日赤病院の移転が議論されたときから、移転を残念がる地元住民の意見もあり、市長として、その場所の良き活用方法を考え続けてきました。そして、民間の善意によって健康サービスを提供し、老若男女、障害のある人も集える場所にしたいと考え、「生涯活躍のまち」というビジョンを発表しました。

HP